



## お知らせ

### 綾部高校図書館 “読書月間” のお知らせ

11月19日(月)～12月21日(金)は綾高読書月間です。



#### 図書館公認しおりコンテスト

応募期間 11/5 ～ 11/26

結果発表 12/17

綾高図書館公認しおり 2018年版を募集します。応募作品から数点を選び印刷・ラミネートし、公認しおりとして図書館で配ります。応募用紙は図書館と校内掲示板で配布中。



昨年のしおり  
受賞作品

～秋の夜長にたくさん読書～  
**貸出冊数・期間2倍!**

11/19～

貸出冊数：4冊 ⇒ 8冊

貸出期間：2週間 ⇒ 4週間

肌寒い日にはお家の中でゆっくり読書はどうか？

ワークショップ“自分の推し本”を永久保存

#### 大切な一冊をラミネート!

開催日時 11/21、12/12・19

放課後

場 所 図書館

お気に入りの本に透明なフィルムを貼って防水・防汚対策しませんか？  
参加費無料、一人1回1冊まで。

Book Talk 読書月間号特別企画

#### 作家さんにお手紙&読書クイズ

発行予定日：12/10

今年も作家さんへのお手紙&アンケート企画進行中です。返ってきたお返事とアンケート用紙は委員会だより”BookTalk”に掲載・配付します。景品付き読書クイズも実施します♪

去年の雑誌さしあげます!

開催日時 11/21(水)

放課後～

場 所 図書館

対象雑誌：

「アニメージュ」「オレンジページ」「ロッキンオンジャパン」「M O E」「装苑」「Number」「Cut」の2017年版

## 新着図書案内

○小説の新刊(作家名五十音順)

『54字の物語…意味がわかるとソクソクする超短編小説』 氏田雄介著

「先日研究室におくってくれた大きなエビ、おいしかったよ。話は変わるが、例の新種生命体のサンプルはいつ届くのかな？」  
…意味わかりますか？このお話の中に衝撃の物語が隠れています。全て45文字で完結する超短編小説集。

第一回ピュアフル小説賞大賞受賞作

『黒揚羽の夏』 倉敷茂著

両親の都合で東北の祖父の家へやってきた3人兄弟。小さな町を台風が襲った日から、不可解な出来事が起きる。水たまりに映った赤い帽子の女、相次ぐ少女の失踪、60年前の日記に記された同じ連続少女失踪事件…。3人は謎の美人姉妹2人と手を組み、解明しようとする一。

『宵物語』『忍物語』『結物語』

西尾維新著

シリーズ続刊入りしました!



『洗濯屋三十次郎』 野中ともそ著

代々続くクリーニング屋を兄から継ぐことになった三十次郎。ベテラン職人たちに支えられながらなんとか見習い店長をこなす日々。昔ながらの商店街のクリーニング店といえども、持ち込まれる服は様々。そこにこもった思い出や事情も色々で…。服と“よごれ”が織り成すハートフルストーリー。

織田作之助賞受賞

『あの家に暮らす四人の女』 三浦しをん著

古い洋館に暮らす四人の女たち+謎の老人。刺繍作家の佐知と鶴代は親子だが、雪代と多恵美は友人。老人・山田にいたっては正体不明。赤の他人だけれど一つ屋根の下結束し、時にストーカー男を撃退し、また時に雨漏りに立ち向かう!?

手紙のみでつづられる運命の恋!

『ののとはな通信』 三浦しをん著

ののとはな、横浜のお嬢様学校で出会った二人は対照的な人間だった。はなはおっとりお嬢様、かたや頭脳明晰なののだが、二人はウマが合い親友となる。しかし、のののにとってはなは親友以上の存在となる…。十代の運命の出会いから大人になった二人の波乱万丈な20年間を、手紙のやり取りのみで壮大に描く“女子大河小説”!



湊かなえが手掛ける青春小説！  
『ブロードキャスト』湊かなえ著

陸上の名門校に入るも、やむを得ず走ることを諦めた啓祐。やるせない日々を送るも、知り合いから放送部に誘われたことから、“声”の世界に飛び込むことに。同級生や先輩にひっぱられながら目指すは全国高校放送コンテスト・ラジオドラマ部門。部員一丸となって取り組むが。

第2回ショートショート大賞受賞  
『ずっと喪』 洛田二十日著

奇想天外なショートショート（超短編小説）で大賞を受賞した作者の衝撃のデビュー作。  
「桂子ちゃん」—ある時突然、将棋の駒の“桂馬”のようにしか歩けなくなる少女。まっすぐに進めないのは想像以上に大変で…。

『つながりの蔵』 柳月美智子著

小学5年生の遼子たちは、町で幽霊屋敷と噂される家の少女と仲良くなる。広い屋敷には庭や祠、古い蔵まであった。ある日、少女の祖母の歌をきっかけに蔵へと踏み入れた遼子たちは、そこで蔵の不思議な力を目の当たりにする。

『愛×数学×短歌』横山明日希編著

「座標から 距離の出し方 知ったけど 距離の詰め方 教科書にない」

短歌の5・7・5・7・7の世界が、数学と出会ったら？  
Twitter から始まった「愛と数学の短歌コンテスト」の作品を物語形式でまとめた異例の一冊。

『おやすみ、東京』吉田篤弘著

夜の東京を夜空色のタクシーが駆け抜ける、目指すは橙色の実。調達屋と呼ばれる映画の小道具係が、監督に頼まれたのは季節外れのびわの実。当然都内のスーパーには見当たらず、最後の望みは街路樹のびわの木。しかしそこには先客が一。夜の都会は意外に優しさが溢れている。

1976年のミステリー話題作新版  
『死の影の谷間』 ロバート・C・オ布莱エン著

核戦争後、人類はほぼ死に絶えるが、ある谷間に少女が生き残っていた。一人畑を耕し、家畜の世話をする日々。しかし、その日々は元科学者という男が谷に現れたことで変わり始める。近未来サスペンス。



フィンランドの人気児童文学作品  
『オンネリとアンネリのおうち』マリヤッタ・クレンニエミ著

7歳の少女アンネリとオンネリは大の仲良し。ある日、大金の入った封筒を拾ったのをきっかけに素敵な家を手に入れます。二人の親忙しくて子供をほったらかし。それなら二人で住んじゃえ！と楽しい子ども二人暮らしが始まります。

○↓情報・メディアの新聞

『〈学問〉の取扱説明書 改訂版』 仲正昌樹著

哲学、政治学、経済学、社会学、法学など各学問についての最近の動向や、専門用語などを丁寧に解説する学問の入門書。

『インターネット社会を生きるための情報倫理 2018 改訂版』 情報教育学研究会

インターネットのルールからセキュリティ対策までコンパクトにまとめた一冊。

○↓哲学の新聞

『学校に行きたくない君へ 大先輩たちが語る生き方のヒント。』 全国不登校新聞社

樹木希林、荒木飛呂彦、辻村深月—20人もの大先輩に不登校の若者たちが、直に取材し、得た学校で悩む人へのアドバイス満載。

○↓社会評論の新聞

『シャルリとは誰か 人種差別と没落する西欧』 エマニュエル・トッド著

フランスの新聞社襲撃事件をきっかけに始まった「私はシャルリ」デモに疑問を投じる一冊。表現の自由の裏で進む不寛容を指摘する。

『少数異見 「考える力」を磨く社会科ゼミナール』 水谷修著

「夜回り先生」こと水谷先生が、今社会を生きる上で大事な“自分で考える”力を「政治」「哲学」「いじめ」等の問題を通して問う。

○↓経済学の新聞

『経済学サク分かり 中学の教科書から学ぶ』 菅原晃著

中学・高校の教科書を見直せば経済学の本質は掴める！経済学の基本から経済事象まで解説。

○↓社会学の新聞

『ヘンテコノミクス 行動経済学まんが』 佐藤雅彦ほか著

数字だけでは解明できない人々の経済行動を、“心理学”から読み解く、おもしろ行動経済学マンガ。

『「コミュ障」の社会学』 貴戸理恵著

空気が読めなくても人はつながって生きていける。学校、会社にあふれる「コミュニケーション至上主義」に疑問を投げかける一冊。

『データで読む日本文化 高校生からの文学・社会学メディア研究入門』 成蹊大学文学部学会編

“源氏物語”“昭和のスター”“恋愛”など7つの視点から日本文化を読み解く。

○↓福祉の新聞

『違和感から始まる社会学 日常性のフィールドワークへの招待』 好井裕明著

日々の生活でふと違和感を覚えることはありませんか？それは社会学のフィールドワークの始まりです。

『目の見えない人は世界をどう見ているのか』 伊藤亜紗著

「目の見えない人の「見方」に迫りながら、「見る」ことそのものを問い直す。」

『弱者の居場所がない社会 貧困・格差と社会的包摂』 阿部彩著 368.2

“貧しい”とは衣食住が欠けるだけではない。社会から居場所を失うこと、つながれないこと—貧困問題入門書。

『意識をデザインする仕事 「福祉の常識」を覆す ビューティフルデザインが目指すもの』 須藤シンジ著

ファッションとデザインで人の意識の“壁”を打ち壊す！

『子どもの問題 いかに関心するか』 魚住絹代著

数々の少年院で子どもたちの立ち直りを支援し、現在大阪府のスクールソーシャルワーカーとして活躍する著者。自身が携わった経験を語る。

